

あさか外来通信

H29.11月号

歯周病と

治療法



放っておくと
歯が抜けるニャー

歯周病は日本人の約8割が患っていると言われています。

「歯磨きすると血が出る」「歯ぐきが下がってきた」ということでお悩みの方も多いのではないのでしょうか。

そもそも歯周病とは…？

歯周病とは主に歯磨き不足によるお口の中の汚れ（**プラーク**）によって引き起こされる炎症性疾患のことで、進行すると**歯を支える骨を溶かしてしまいます**。痛みなどの自覚症状が少なく、気が付いた時には歯がグラグラ揺れてきて、更に進行すると“**歯が抜けおちたり、抜歯が必要な状態**”となります。一度溶けてしまった骨は、自然には元に戻りませんので、手遅れになる前に治療をしたり、歯周病にならない為の予防をしたりすることがとても重要になってきます。

歯周病の治療方法は？

まずは歯ブラシでは取れなくなってしまった汚れ（**歯石**）を取り除いていきます。汚れが取れてキレイになれば歯ぐきの炎症が治まり、歯周病の進行を防ぐことが出来ます。ただ、歯石の除去だけでは溶けてしまった骨を戻すことは出来ません。

当院では、**特殊な薬剤**を使用した「**歯周組織再生療法**」という治療法をお勧めさせて頂く場合があります。薬剤の主成分は“**タンパク質**”で、溶けてしまった骨の表面に塗ることで、**歯が生えてくるときと同じような環境**をつくり歯周組織の再生を促してくれます。

(エムドゲイン・ゲル)



歯周組織再生療法の効果



← 治療前

レントゲン写真の白い部分が骨のある所です。歯を支える骨の部分が**黒い空洞**になっていますね。これは歯周病の進行により、骨が溶けてしまっている状態です。

治療後の
メンテナンスが
大切です♪



← 治療後

空洞だった部分が**白く埋まってきています**。歯を支える骨が、再生しているということです。個人差はありますが、約半年で骨の再生がみられ、治療後1年ほどの時間をかけてしっかりとした骨が出来上がっていきます。



医院からの お知らせ



日本口腔インプラント学会
学術大会に参加しました



第47回日本口腔インプラント学会 学術大会が仙台で開催されました。



当院から、川島・島田・小林 3名の歯科医師が発表を行いました。



過去の外来通信・医院についてはこちら

